



視覚障害者の方には声を掛けてください。
説明する時は具体的な表現で話してください
移動時は肩や腕に掴まってもらい誘導してあげま
しょう。



盲導犬同伴の人場合は盲導犬も中に入れるように
しましょう！



内部障害のある方 身体内部に疾患が有り、外見上
は分かりにくく誤解を受けやすかったりしますがハ
ートプラス マークを着用していたりします。
携帯電話等電子機器の傍での使用はなるべく控え
ましょう。

聴覚障害のある方にはゆっくりと口を大きく
開けて話したり、メモを書きながら(筆談と言いま
す)コミュニケーションを取ります。

又、スマホやタブレット端末を使いコミュニ
ケーションをとる方法もあります。



発達障がいや知的障害の人達には、ゆっくりとひとつひ
とつ丁寧に話しかけてください。
又、絵カードやコミュニケーションボード等、視覚的にでもわかり
易い提示ができるとういでしょう。



車椅子の方にはできるだけ段差や通路を広く確
保してください。 難しい場合には、簡易なス
ロープを準備しておく等工夫してみてください。

レストラン等では車椅子のままで良いのか？座
席に移動したほうが良いのか？聞いて対応して
ください。

介助犬など同伴している場合もあります。介助
犬も共に入れてあげてください。



盲導犬や介助犬等の店内 OK のマークです。
受け入れ可能な店舗は入口に表示してく
ださい。

身体障害者補助犬とは、盲導犬、介助犬、聴導犬のこ
とを言います。「身体障害者補助犬法」が施行され、現在では公共の施設や交通
機関はもちろん、デパートやスーパー、ホテル、レストランなどの民間施設でも身
体障害者補助犬が同伴できるようになりました。補助犬はペットではありません。
体の不自由な方のパートナーです。

由な方の、体の一部となって働いています。社会のマナーもきちんと訓練されて
いるし、衛生面でもきちんと管理されています。

お店の入口などでこのマークを見かけたり、補助犬を連れていての方を見かけた
場合は、御理解、御協力をお願いいたします。